

# 「第4次裾野市子ども読書活動推進計画(案)」に対する

## パブリックコメントの実施結果について

(裾野市教育部鈴木図書館)

「第4次裾野市子ども読書活動推進計画(案)」について、パブリックコメントを実施したところ、下記のようにご意見をお寄せいただきました。

意見の概要とそれに対する市の考え方を公表いたします。なお、いただいた意見は、趣旨を損なわない範囲で要約しています。

1. 募集期間 令和7年1月16日(木曜日)～2月14日(金曜日)

2. 意見の提出人数・件数

提出方法	件数(件)	人数(人)
図書館本館、分室または支所に直接提出	2	1
パブリックコメント提出フォーム	1	1
電子メール	0	0
郵送	0	0
ファクス	0	0
市役所情報公開コーナー意見箱	0	0
計	3	2

3. 意見及び市の考え方

別紙のとおり

《問合せ》 鈴木図書館 電話：992-2342

No	ページ	該当箇所	意見	意見に対する考え方
1	P11	本とふれあうきっかけづくり 内容 3 行目について	借りた本を期限内に返却することがハードルになることがあります。返却ポストを駅や公共施設、スーパー等に設置するなど、返却まで気軽にアクセスできると図書館に行きやすくなり、返却ポストの存在や、ポストを使った情報提供などによって、図書館について意識する機会を増やすことも出来るのではないかと思います。	15 ページ、「地域(市立図書館、関係部署)における子どもの読書活動の推進」の取り組みとして、「利用しやすい環境づくり」を掲げています。ご意見は、こうした取り組みを進めるうえでの参考にさせていただきます。
2	P9	基本方針	環境整備、読書活動推進、大人が読書する姿 図書館を、知性、道徳心、感性を良い方向に刺激する場としての再認識 学校教育だけでは救い上げることができない一人ひとりの子の持つ innate (一人ひとりの子が生まれたときにすでにその心の中に持っているものであり、これらの理解力、能力のこと) な能力の蓄を大切に育て見事な花に開花できるように。 ◎図書館での調べ学習を小中学校に年間を通して組み込んでいく (図書館に行ったことのない家庭もある為、まずは子から行ってみる)。	ご意見は、計画を推進するうえでの参考にさせていただきます。 調べ学習に関しては、13 ページ、学校における子どもの読書活動の推進の具体的な取り組み、学校図書室の有効活用の中で、調べもの学習の充実を進めることとしています。また、図書館の取り組みとして、16 ページ、地域における子どもの読書活動の取組、関係機関との連携の中で、学校での調べもの学習に対応できるよう、連携していくことや、図書館見学・職業体験等の受け入れにより、学校と連携し、図書館利用を推進することを掲げています。
3	P11	家庭における子どもの読書活動の推進	家庭での読み聞かせの重要性の再認識 まず、愛着の形成、読み、その対象を解釈することを通じてそれらを書いたものに身を委ね、身を重ねることによって我がものにする事ができる。世界を俯瞰する眼を養うことができる。家庭内で、上記について“答えのない対話”を楽しむことで新たな視点で読書をする事につながる。 幼児は一般に動画を好む傾向がある為、絵本とのバランスを考え、絵本の優先順位を高くしておく方が、後の読書経験にも大きく影響を与えることと思う。 ◎家庭に読書の習慣をつけるように。子らが身近に接する小中の先生が本を読む姿を (親に本を読もうといってもなかなか難しい為)。	ご意見は、計画を推進するうえでの参考にさせていただきます。 ご指摘のとおり、読書習慣を身に付けるためには周囲の人たちの読書を楽しむ姿勢を示すことは非常に大切であり、当然、学校の教員等も含まれます。この部分は、17 ページ子どもの読書活動推進に関する理解と周知の中に記載していますが、より明確にするため、具体的な取り組みの中に、「保育士や教諭向けの読書に関する情報提供を行います」「大人が読書を楽しむための情報も積極的に発信します。」を追記します。